

JOURNAL

いしんジャーナル

ISHIN

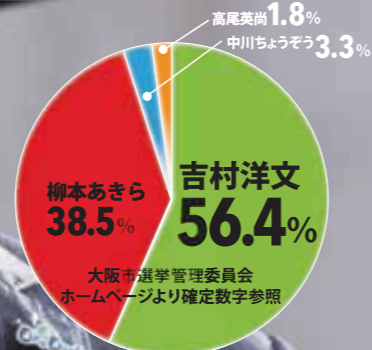
vol.3

発行元
大阪維新の会・大阪市議員団
〒530-8201
大阪府大阪市北区中之島1-3-20
大阪役所8階
発行日
平成27年12月23日

大阪市長選挙
結果報告

市民の期待を背に、 大阪をもっと前へ!!

23区で、維新の会公認の
吉村洋文氏が最多得票。



11月22日に行われた大阪市長選挙の各候補者の得票数は、
吉村洋文氏が596,045票、柳本あきら氏が406,595票、
中川ちようぞう氏が35,019票、高尾英尚氏が18,807票という結果となり、
大阪維新の会公認の吉村洋文氏が大阪市の新市長に就任することとなりました。
多くの市民の方々に関心をお寄せいただき、選挙にご参加いただきましたこと、
大阪の将来を真剣に考えていただきましたことを心より感謝申し上げます。
お示された民意を実行に移していくため、吉村洋文新市長と共に
さらなる活動に取り組んでまいります。 一大阪維新の会・大阪市議員団一同

西成補欠選挙結果報告

知事選挙・市長選挙と同日で行われた大阪市議会議員補欠選挙(西成区)において、
大阪維新の会公認の岡田やすとも氏が17,407票の得票数で当選いたしました。
これにより、1名増の37名体制でさらなる改革に取り組んでまいります。

橋下市政の4年間で大阪は、大きく前進。

維新の
実績
1

住民サービスへの重点投資!

- 地下鉄初乗り運賃の20円値下げ(消費税増税のための値上げにストップ!)
- 地下鉄のトイレ・売店の改革、終電の延長
- 水道基本料金100円値下げ ●特別養護老人ホームの増設
- 小規模保育事業スタート ●こども医療の無料化 ●妊婦検診の無料化
- 住民票のコンビニ交付 ●区役所窓口サービスの向上 など

維新の
実績
2

公務員改革で役所組織を適正化!

天下り団体数	(H23) 72団体	(H27) 27団体	45団体削減
天下り数	(H23) 1,487人	(H27) 445人	1,042人削減
職員人件費	(H23) 2,305億円	(H26) 1,969億円	15%縮減
職員数	(H23) 37,899人	(H27) 31,747人	6,152人適正化

維新の
実績
3

市長・議員の身を切る改革!

市長報酬	約140万円	約80万円	4割カット
市長退職金	約4,000万円	約750万円	81%カット
議員報酬	20%カット		

※平成23年度条例額と比較

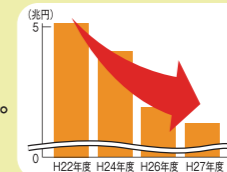
維新の
実績
4

数々の改革で財政を健全化!

借金を
削減
しました!
4,947
億円
削減



徹底したムダの削減と
身を切る改革により、
市の財政を立て直しました。



■大阪市政状況の推移
市債残高には国の交付金で
まかなう臨時財政対策債を含む。
H26年度は、4兆5,677億円。
H27年度は、4兆5,677億円。

改革を引き継ぎ、
さらに前進させます。

議会報告

一般決算特別委員会 主な質疑内容まとめ

これからの議会に、要注目!!

丹野壮治 議員 土地信託事業の総括



・過去最大級の財務リスクを抱えた土地信託事業が一定の処理を終えた。土地信託事業に係るトータル損失及び無謀で無責任な事業をした反省について伺う。

・6つの土地信託事業トータルで約1,482億円もの損失及び約371億円の土地も手放すことになった事への反省にたち、今後はより慎重に進めていく。



契約管財局質疑応答より編集 損失額約 726億円

今井アツシ 議員 区の予算編成について



・各区で特色ある事業が進んだことは成果。
・各区で予算配分格差が大きいなどの課題もあると聞いている。
・区の予算編成についての認識を伺う。

・平成29年度予算編成に向けてさらなる改善案を作るように指示した。
・今の制度は総合区の先を行っている。これ以上の改革を進めるなら特別区しかない。



井戸正利 議員 生活保護について



・決算額は2,916億円で3年連続の減少となっているが医療扶助はどうだったか。
・西成区の特別対策として開始した適正化のための医療機関の指定制度はどうだったか。

・医療扶助費は国民医療費が2%程伸びている中、4億円の減で約1,300億円、指定医療機関の有期制や却下の基準などの取り組んだ内容が改正生活保護法に含まれた。今後も実態を踏まえ要望や提案を行う。

改正内容の詳細は、こちらからご覧いただけます。



福祉局質疑応答より編集

守島正 議員 未来を見据えた大都市の方向性



・観光戦略など、府市一体の取組成果あり。しかし未だ、鉄道インフラ等の成長戦略は大阪市という枠組みに縛られている。経済を成長させるための考え方を問う。

・これまでの市議会は、鉄道や都市戦略を地元選出区という狭い視野で考えていた。世界でも輝く大都市を築くため、広い視野で、鉄道ネットワークや成長戦略を構築すべき。



金子恵美 議員 市営交通機関乗車料金福祉措置



・障がい者などに対する地下鉄・バスの無料乗車証・割引乗車証をICカード化すべきと考えるが見解を伺う。

・職員人件費も含めてフルコスト比較をして検討を進めていくべきだと考える。
・CIO(最高情報責任者)の導入も検討し、全庁的に業務ICT化を進めていきたい。



奥野康俊 議員(副委員長) 管理職のやる気と人数



・評価が悪い無昇級の職員のやる気は? 課長が多いので降格人事を実施。課長1人対30人体制にし、削減によりできた財源を他の職員の給料アップに使い無昇級職員をゼロにしたい。

・財政効果を狙った降格人事はやってはいけないと考えているが、ポストのあり方については歪みがあるので、新市長と検討してほしい。人事室も問題意識を持っている。



広田和美 議員 区長公選制について



・現在の区長は5年を超えて同じ区に再任できない。代わってしまうのを惜しむ声も多いのではないかと。やはり、区長公選制が必要だと考えるが、市長の見解を伺う。

・今の区長は一般職という位置付け。区長職の期間をずっと延長するのは組織的に問題がある。選挙で選ぶということになれば、住民の意思で堂々と再任できるようになる。



藤田あきら 議員 政策決定における選択基準の考え方



・この4年、市長は政策決定において発信性も考慮してきたのでは。議会では「打ち上げ花火」と批判されてきたが、施策を通じて市の方向性を発信する事は重要な評価項目と考える。

・政治家は最後は選挙で有権者に判断してもらう。できる限り有権者に市政の方針を出すことは重要。民主主義が機能するためには、対立も市民に見える場でやるべきと考えている。



一般決算特別委員会 総括



片山一步 議員(委員長)

橋下市長にとっては、任期4年の総決算となる最後の決算委員会となりました。これまで改革してきたこと、吉村新市長が今後やるべきこと、熱く有意義な議論をしていただきました。

他の会派議員も、橋下市長の熱弁に、大きくうなづく場面も見受けられました。市長答弁を求めたのは、維新議員のみで、他の会派議員は市長を呼び出すことは一切なく、これまでの主張を遠吠えのように繰り返すだけだったのが心残りです。

過半数に満たない
大阪維新の会市会議員団。
粘り強い合意形成に
取り組み、大阪を前に
進めていきます。



佐藤秀峰『ブラックジャックによろしく』 漫画 on Web より ※本画像は漫画作品の二次利用であり、原作者の思想・信条とは一切関係ありません。